

松浦メロン祭りにぎわう

毎年恒例の「松浦メロン祭り」が5月5日と6日の2日間、道の駅松浦海のふるさと館で開催され、キンショーメロンとアールスメロンを販売しました。

今年も温度と湿度管理を徹底したことにより、キンショーメロンは大玉で、糖度も16度以上。アールスメロンもネットの張りがよく、糖度も15度程度と甘さは十分。市価より安いとあって、市内外の買い物客が大勢詰めかけ、約2,600ケースのメロンが飛ぶように売れていました。

また会場には、宅配コーナーも設けられ、新鮮なメロンを遠くの知人や親せきに送ろうと長蛇の列ができていました。



グラウンドゴルフなどで交流

第3回松浦市婦人ページェントが母の日の5月11日、不老山総合公園で開催されました。

志佐・星鹿・今福・鷹島の婦人会会員で構成する松浦市地域婦人会連絡協議会（榎元あや子会長）が、会員相互の交流を目的に毎年開催しています。

この日は、会員約150人が参加。グラウンドゴルフや鷹島音頭、よかところ節、輪投げ、ボール送りなどを行い、参加者は楽しいひとときを過ごしました。

和船競漕で熱戦

鷹島町阿翁浦地区の伝統行事で「せいぐろ」と呼ばれる和船競漕大会（和船競漕保存会主催、安部勝徳会長）が5月5日、阿翁浦港で開催されました。

地域の活性化や豊漁、子どもの健やかな成長を願って毎年「こどもの日」の5月5日に開催。平成5年に旧鷹島町の無形民俗文化財に指定されています。

今年は、阿翁浦地区など市内から28チームが参加。和船に約10人が乗り込み、往復約300mのコースでタイムを競いました。多くの観客が見守る中、選手たちは熱戦を繰り広げました。

上位の結果は次の通りです。

- ①漁協青年部A（3分10秒）
- ②阿翁浦地区5、6組（3分21秒）
- ③阿翁浦地区1、2組（3分22秒）
- ④阿翁浦地区7、8組（ 〃 ）



サークル「おばしゃま」が熱演

第8回上高野ミニ演芸会が5月11日、志佐町の上高野公民館で開かれました。

演芸会は、地区住民の交流を目的に、地区の女性7人からなるサークル「おばしゃま」（新見タカ代表）が毎年開催。今年は、地区住民など約60人が見守る中、日本舞踊やハーモニカ演奏、琴演奏などを披露しました。

また、サークル「おばしゃま」の民話劇では、御厨町田代地区に伝わる「売れないあきない」を基にアレンジした「ちゃくりかき」を熱演。方言をふんだんに使った愉快的演技に、会場はにぎやかな笑い声でいっぱいになりました。



旬の人

少年空手道 県大会で優勝！

川中 碧君
(志佐・里1、11)



川中碧君（志佐小6年）が5月3日、佐世保市で開催された第24回長崎県少年少女空手道平成20年選手権大会兼第8回全日本少年少女空手道選手権大会（県予選会）で優勝しました。同大会には県内の各空手道団体から選抜された463人の選手が出場。川中君が出場した6年生男子「形の部」には、23人が出場し、見事に優勝したものです。

川中君は、拳城館松浦支部に所属し、市立武道館で週2回、拳城館本部道場（佐世保市）で週2回、約3時間かけて受け・突き・蹴りといった空手技法の基本、形、組手などの練習をしています。

また、同大会には同じ道場で練習する妹の川中彩耶さん（志佐小4年）と弟の川中颯君（志佐小1年）も出場し、彩耶さんが組手の部で第3位、颯君が組手の部で準優勝に入賞しました。碧君と颯君は8月9日と10日に東京で開催される全国大会に出場します。また、碧君と彩耶さんは平成26年に行われる長崎国体に向けた本年度の県強化選手にも選ばれています。

川中君は「将来の夢は、警察官になること。強くなりたいという思いと両親の勧めもあり、6歳のころに空手をはじめました。目標は、長崎国体に出ることですが、まずは全国大会で一つ一つの試合を思い切り戦い、自分の持つ精一杯の力を出し切りたいです。そして、空手の楽しさをみんなにも知ってもらいたいです」と話し、指導者の松本勝久さん（拳城館松浦支部長）は、「人一倍努力を重ねた結果、技にスピードとキレが出てきました。本県の少年空手道のレベルは高いので、これからの頑張りによつては全国大会で上位入賞も夢ではありせん。大舞台でベストを尽くしてほしいですね」と話していました。